

今月の経済動向（平成29年9月）

● 月例経済報告

<p>基調判断</p>	<p>(9月) 景気は、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p> <p>(8月) 景気は、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p>	
<p>個人消費</p>	<p>(9月) 緩やかに持ち直している。</p> <p>(8月) 緩やかに持ち直している。</p>	<p style="text-align: center;">消費総合指数と実質総雇用者所得</p>
<p>設備投資</p>	<p>(9月) 持ち直している。</p> <p>(8月) 持ち直している。</p>	<p style="text-align: center;">製造業・非製造業の設備投資（実質）</p>
<p>住宅建設</p>	<p>(9月) 横ばいとなっている。</p> <p>(8月) 横ばいとなっている。</p>	<p style="text-align: center;">住宅着工戸数（季節調整値）</p>
<p>雇用情勢</p>	<p>(9月) 改善している。</p> <p>(8月) 改善している。</p>	<p style="text-align: center;">雇用者数、就業者数の推移</p>

月例経済報告：内閣府

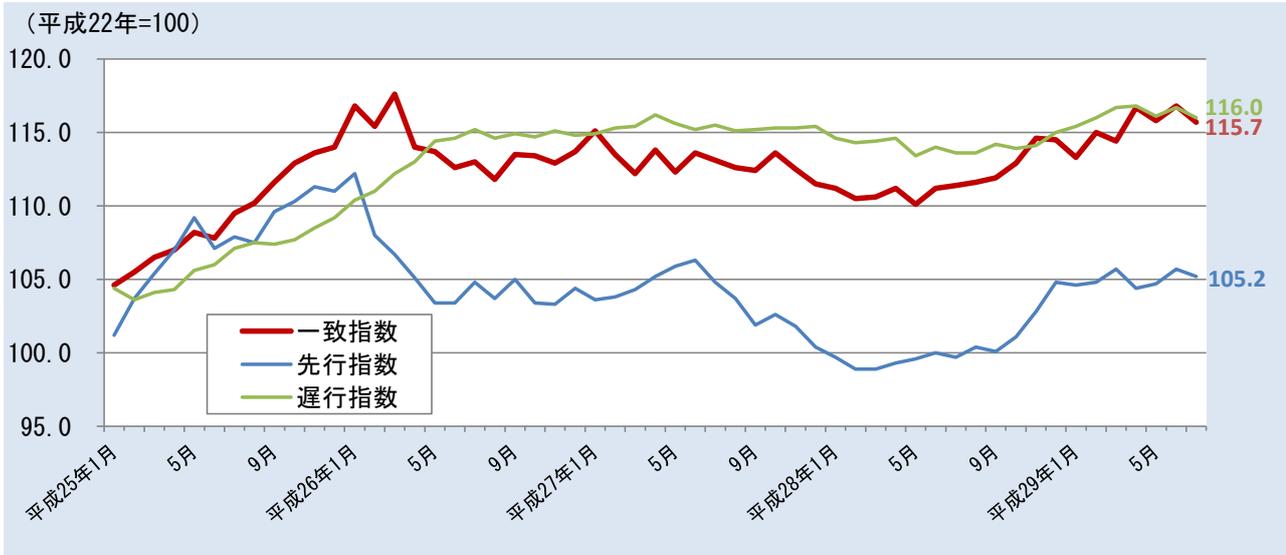
生産	(9月) 持ち直している。	<p>鋳工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移 (2010年=100)</p> <p>This line chart shows the trends of casting industry production, shipments, inventory, and inventory rate from 2008 to 2017. The left Y-axis (70-120) represents production, shipments, and inventory. The right Y-axis (80-160) represents the inventory rate. Production (solid line) and shipments (dashed line) show a sharp decline in 2009 followed by a recovery. Inventory (dotted line) remains relatively stable. The inventory rate (dash-dot line) shows significant volatility, peaking in 2009 and 2017. A '予測調査' (survey) is indicated for 2017.</p>																								
	(8月) 持ち直している。																									
輸出	(9月) 持ち直している。	<p>地域別輸出入数量指数 ①輸出 (2010年=100)</p> <p>This line chart shows the regional export volume index from 2008 to 2017. The Y-axis ranges from 60 to 150. The '全体' (Overall) index is shown in black, with regional indices for America (red), Asia (green), and EU (blue). A table on the right provides monthly and 3-month moving average (3MA) changes for August and the overall index.</p> <table border="1"> <tr> <td>アメリカ</td> <td>8月</td> <td>▲1.1%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>+1.1%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>8月</td> <td>+3.7%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>+0.9%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>8月</td> <td>+4.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>+1.2%</td> </tr> <tr> <td>EU</td> <td>8月</td> <td>▲1.5%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>▲2.5%</td> </tr> </table>	アメリカ	8月	▲1.1%		3MA	+1.1%	全体	8月	+3.7%		3MA	+0.9%	アジア	8月	+4.3%		3MA	+1.2%	EU	8月	▲1.5%		3MA	▲2.5%
	アメリカ		8月	▲1.1%																						
	3MA	+1.1%																								
全体	8月	+3.7%																								
	3MA	+0.9%																								
アジア	8月	+4.3%																								
	3MA	+1.2%																								
EU	8月	▲1.5%																								
	3MA	▲2.5%																								
(8月) 持ち直している。																										
国内企業物価	(9月) 上昇テンポが鈍化している。 ※「このところ」を削除	<p>企業物価の推移 (2015年=100)</p> <p>This line chart shows the trends of corporate prices from 2008 to 2017. The Y-axis ranges from 94 to 109. It tracks '国内企業物価' (Domestic corporate prices), '輸出物価(目盛右)' (Export prices, right scale), and '輸入物価(目盛右)' (Import prices, right scale). All indices show a significant dip in 2009 and a subsequent recovery.</p>																								
	(8月) このところ上昇テンポが鈍化している。																									
消費者物価	(9月) 横ばいとなっている。	<p>消費者物価の推移 (2015年=100)</p> <p>This line chart shows the trends of consumer prices from 2010 to 2017. The Y-axis ranges from 95 to 102. It tracks '総合' (Overall), '生鮮食品を除く総合' (Overall excluding fresh food), and '生鮮食品及びエネルギーを除く総合' (Overall excluding fresh food and energy). All indices show a sharp decline in 2013 followed by a recovery and stabilization.</p>																								
	(8月) 横ばいとなっている。																									
海外経済	(9月) 世界の景気は、緩やかに回復している。																									
	(8月) 世界の景気は、緩やかに回復している。																									

[月例経済報告：内閣府](#)

● 景気動向指数（平成29年7月・改訂値）

平成29年7月のCI一致指数（改訂値）は前月より1.1ポイント低い115.7ポイントとなった。
 CI先行指数は前月より0.5ポイント低い105.2ポイント、遅行指数は前月より0.7ポイント低い116.0ポイントとなった。
 景気の基調判断（CI一致指数）は、「改善を示している」を据え置いた。
 ※CIの算出に用いる一部のデータが全期間で遡及改訂されたため、今回の発表においてCIの各指数のデータは全期間で遡及改訂された。
 このため、前月との比較は改訂後の数値で比較しており、前月発表された数値との比較ではないことに注意。

・CIの推移



[景気動向指数：内閣府](#)